の みが わ

2025年9月18日発行（通算 第119号）
発　行　呑川の会　　代表 白石 琇朗

呑川の会HP　http://nomigawanokai.net/

Facebook:https://www.facebook.com/profile.php?id=100093433484602

池上小学校スライド学習、同小池上図書館展示

記:菅谷　郁恵

○ 7月1日　池上小スライド学習

写真1:池上小スライド学習風景(体育館)

呑川の会のニュースで、池上小学校での児童生徒との清掃活動や未来学習等の交流の記事を読んでいたので、一度参加させてもらいたいと思っていたところ、会員の佐瀬さんのメール発信があり、心弾ませ参加しました。

まず、校長室での校長先生や担当教諭と会の皆さんのお話を伺っていますと、既にしっかりと信頼関係が出来上がっていることが伝わってきました。それは、会の皆さんが、大田区の教育委員会が進める「おおたの未来科」授業で、呑川学習を昨年10時間以上取り上げられてこられたからだと感じました。

5年生3クラスの児童及び先生方が体育館へ集合、その後スライド学習を始めました(写真1)。

佐瀬さんが準備されたプロジェクター放映による教材には、呑川の歴史、自然や川の流れ、生き物や、そこに暮らす人々等がしっかり準備されており、学ぶことが多かったです。

また、授業の後も、校長先生と会員の皆さんが、今後の取り組みについて熱心に話されていました。

今回のスライド学習(「おおたの未来科」授業)に参加して、とても勉強になりました。

写真2:　講師、佐瀬さんのクイズに応える児童

○ 7月25日から2週間　池上図書館　展示

池上小学校５年生の昨年度の呑川学習成果発表を、池上図書館で展示していました。児童たちが、地元の呑川に関心を持ち、自分たちで考え、呑川を良くしたいという思いが伝わってくる素晴らしい内容でした。この児童たちが大きくなる、10年後、20年後には、呑川が ゴミの無いきれいな身近な川になっているかもしれない と希望が湧いてきました。

また、池上小の「おおたの未来科」を参考に、今年は、池雪小が初めて呑川学習をやることになりました。

こうしたことが、地域に広がっていければと思っています。（記：森　厳）

写真3：「呑川みらいプロジェクト」展示風景（池上図書館 ）

池上第二小学校　ミニ学習

記：森　厳

写真1：池上第二小ミニ学習風景（体育館）

7月4日（金）池上第二小学校体育館で、5年生3クラスの児童たちに呑川ミニ学習を行いました（佐瀬会員）。

スタジオテラ代表の石井さんから 、「おおたの未来科」授業の一環で、「君たちは太平橋公園をどういう公園にしたいか」 というテーマの中で、この公園が呑川沿いということから声掛けをしていただき、行ったものです。

15分位でしたが、呑川の歴史、自然、川の流れなど、濃い内容で、呑川や呑川の会のことを知ってもらうよい機会になったと思います。

ミニ学習後 会のメンバーが、児童たちを太平橋公園まで案内しました。

・また、3年生の児童に対しては、これまで尾形さんが、数年にわたり呑川学習を実施されてきているそうですので、今後は、「呑川の会」としても協力していけたらと考えています。

・こども鯉のぼり祭では、毎年2年生に鯉のぼりを制作してもらっており今回をきっかけとして、より一層、池上第二小学校と深い関係を築き地域に貢献することにつながっていければと思います。

写真2：呑川の会　参加メンバー

夏フェス鯉のぼり作成　　記:高橋 恵子

写真1:開催会場

8月1日(金)久原小学校の夏休みガヤガヤ・ワイワイ教室が開かれました。その中で、鯉のぼり制作に、2年生8名、3年生1名が参加してくれました。安岡会員が、不織布を広げて4人で1匹の鯉のぼりを描いて欲しいと説明。ただし、今回参加者は9名なので、3人で1枚に色を塗って仕上げてみよう、ということになりました。

橋本会員が、呑川の会の「会報」を見せて回り、池上小と池上第二小の2年生が毎年描いて呑川に飾っていることを知り、意欲満々で好きな色で塗り始めました。

「池上の方でみたことがあるよ！」、「呑川には鯉もいるんだね！」、「カワセミっていうきれいな鳥をみたことない？」、「洗足池でカワセミ見たことあるよ」、「カルガモという鳥知っているよ！」等々、楽しくお喋りしながら世界に一匹の鯉のぼりを仕上げました。2枚目、3枚目もグイグイ・ドンドン色を塗り、仕上げました。

「久原小学校」と学校名もサインして来年の「こども鯉のぼり祭」に一緒に飾ってもらえることを楽しみにしていました。アンケートも真剣に記入して 「さようなら」 しました。

（なお、参加された3年生は、秋口に予定されている「呑川ウォーク学習」も楽しみにしていました。）

カワセミ　ペーパークラフト作り　　記:岩井　弘行

写真1:カワセミ・ペーパークラフト作り(久が原会館)

夏休み真っ最中の、8月13日(水)午前、久が原会館で、安岡会員の指導による「カワセミ・ペーパークラフト作り」を行いました。

久が原地区の多くの子どもたち(未就学児～中学生保護者を含めて50名弱)が参加されていました。

じっくりと塗り絵に取り組む人たち、早々と塗り終えてさっさと組み立て終える人など・・・各人様々でした。

みなさんが組み立てを終え、「羽がパタパタ」と動くよう見事に完成してもらうことができて良かったです。今回のイベントは、久が原特別出張所から「地区の子どもたち向けの夏休みイベントを行って欲しい」とのご依頼から実現にいたった企画で、このような特別出張所からのオファーも新たな地域交流の機会として活かしてまいりたいものです。今夏は地元の子供たちに夏休み中の勉強部屋としても開放されていました。

呑川緑道と落葉高木について

記:橋本 文興

○呑川緑道は涼み処？（Cool　Spot　Promenade）

写真1：緑道（久が原:北の橋下流右岸側）

図1：8/4・NHK テレビのニュース画面 から

今年の暑さは何時まで続くのでしょうか？ 「真夏日」「猛暑」「酷暑」「危険な暑さ」、また、熱中症警戒アラート注意報が多く出て、最高気温の記録更新と高温に関するニュースも多々ありました。

そんな中、私は健康のため「毎日夕方ウォーク」をしています。夕方でも日が高い時がありますが、呑川沿いの緑道(桜並木)を歩いていると日陰(緑の日傘)に入るとホッとするスポットがありました。特に、呑川沿いの右岸側はサクラの並木が多くみられ、夕方は川風をうけ少しは涼むことが出来ました。

また、休日には、池上橋～石川橋の区間(約 2.5km)では、ランニングの方が多く見られます。

信号が無く、比較的直線的なコースがよいのでしょうか？

緑のトンネルは、ウォークやランニングには大変ありがたいことです(写真2)。しかし、現状、木陰になる「桜並木」には連続性が無く、まことに残念でなりません。今後緑道の並木を増やし快適な通学路や散歩道にして行きたいものです。特に桜並木の整備を要請したいと思いました。

写真2：緑のトンネル(鶴の橋右岸)

○呑川流域の落葉高木について

写真3：センダンの実

緑道沿いの植物は四季ごと多くの種類がみられます。春の桜花、夏の葉茂、秋の紅葉、と季節の移り変わりを感じながらのウォークを楽しめます。

この時期「青い実」(核果) の落葉高木の事例を挙げて見ました。

①「センダン」 センダン科:(写真3)

呑川沿いの雪谷小学校で「センダン」が見られ、サクランボのような「青い実」が付いていました。この木は、成長が早いといわれ、実は、秋～冬季に熟し、ヒヨドリ、ムクドリなどが良く食べに集まります。花は 5～6 月、樹高は 12mほど、西地区では 30mの事例もあります。なお「栴檀は双葉より芳し」のセンダンは、ビャクダンのことで、日本にはないようです。

②「ムクロジ」 ニレ科:(写真4)

写真4：ムクロジの木

(右:ムクロジの実)

現在、ムクロジの実は直径 1.0cm ほどの「青い実」で、道路にその一部がこぼれ落ちていました。
秋は黄葉するが、実はしばらく残りオレンジ色の果皮は、サポニンを含み石鹸の代用にもなります。また、種子は黒色で堅く、数珠や正月の羽根つきの玉にも使われます。
花は 6 月。冬場は、オナガ、ツグミやドバトなどの野鳥が集まります。ムクロジの木は、大田区の保護樹木に指定されています。
(場所:久が原二丁目、久が原図書館裏側)

③「ボダイジュ」 シナノ木科:(写真5)

写真5：ボダイジュの木

右は、その実

ボダイジュは現在写真の様な「青い実」が数個付いていますが、秋になり葉が落ちると、実だけが残り、プロペラのように回りながら落ちてきます。実は葉に付いている様に見えますが、短い苞葉に付いています(写真5)。花は 6 月。是非「秋の実」を観察してみましょう。(久が原二丁目、本光寺)
似た種の「ナツボダイジュ」は蒲田商店街に見られます。
(参考図書：都市の樹木433 岩崎哲也文一総合出版)

「第 62 回多摩川流域セミナー」　記:森　巌

写真 1: 川崎河港水門説明板

7 月 13 日(日)、第 62 回多摩川流域セミナーに、清会員、塚本茂会員、荒井会員、森の4名が参加しました。このセミナーは、1998年から行政、市民、企業、有識者らが多摩川流域の「いい川」の実現に向けて意見交換を行い、ゆるやかな合意形成を図ることを目的にしています。

当日午前は、国土交通省京浜河川事務所や川崎市役所の方々から、現地を見学しながら高規格堤防整備事業や川崎河港水門についての説明を受けました。午後は、川崎市教育文化会館にて、京浜河川事務所による今後30年間で実施する「多摩川水系河川整備計画変更について」の概要説明と、知花武佳教授(佐瀬会員と大学の同僚とのこと)による基調講演がありました。その後、京浜河川事務所長も入り質疑応答(意見交換)の時間がありました。

国土交通省の課長、部長から、「これから、多摩川をどうしていこうとしているのか、国はどう考えているのか」の一端を聞く良い機会だったと思います。知花先生も、国の方針に疑問点をぶつけて、担当者も丁寧に対応する態度に感心しました。今後も、大田区内だけでなく、こういう場も活用して、呑川に生かしていきたいと思いました。

呑川流域中流部合流改善工事の報告(その2－2)　　記:松本 秀雄

2025.7.30 東調布公園で施工中の合流改善工事現場へ。立坑工事が終了し次工事の準備作業中でした。2023 年 4 月より始まった土留用鋼矢板 154 枚の打込み作業は予定通り 2023 年 9 月完了、その後、貯留管敷設用立坑(たて穴)設置前準備作業を行い、2024 年 2 月 14 日、1ロット目のコンクリート打設を実施。2025 年 4 月に 8 回目の最終ロット構築作業を行い、6 月 20 日、先端部の中埋めコンクリート打設を完了。コンクリート製立坑は、深さ 35m 外径 15m 内径 12m (厚み 1.5m)、掘削・搬出した土量は約 6000m^{3}でした。

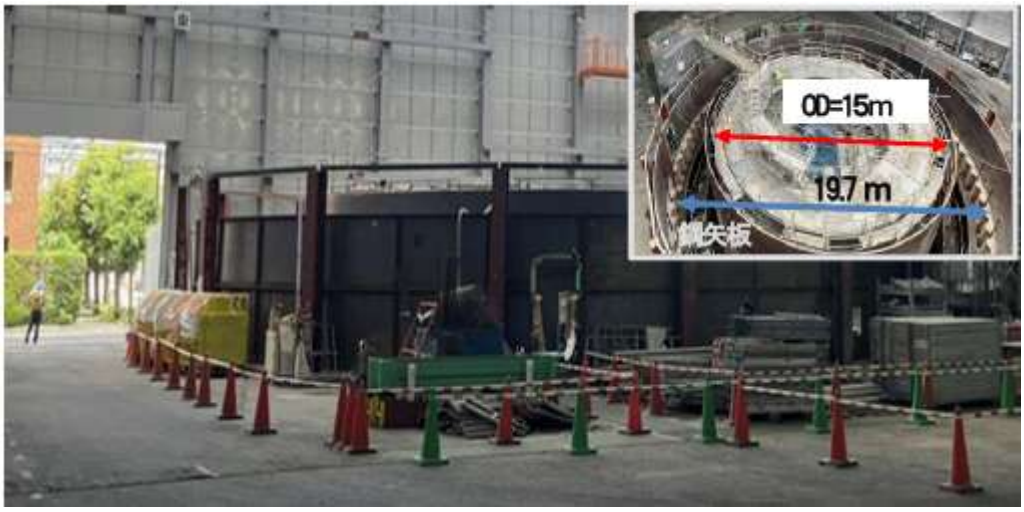
合流改善工事の目的は、雨天時に合流式下水道から呑川へ放流される汚濁負荷量を削減するために降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設(深さ約 24～33mに容量 38,000m^3)を設置する、ものです。

・工事計画: 貯留管x3 系統、取水位置 20 ヶ所、令和 14 年度頃に取水の開始を予定しているとのこと。

・ 貯 留 管 : ①右岸上流 2.4mφx約2km、②左岸・右岸 3mφx約 3.3km、③左岸上流 2.4mφx約 850m

・シールドマシーンによる本格的貯留管工事は、次年度 ①右岸上流から作業を開始するとのことでした。

1. 用地整備 ⇨ 2. 立坑工事終了 ⇨ 3. 貯留管工事 ⇨ 4. 人孔構築



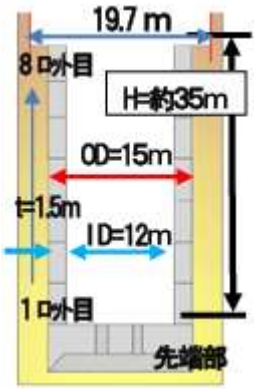


図1:立坑断面図

写真1:立坑、右上は立坑上面から見た状態。出典: 2025.7.18 JV 作業所サイト掲載写真をベースに作成
なお、図2に示す工事中の騒音軽減用防音ハウス高さ引下げ作業は、来年3月末までには行うとのこと。

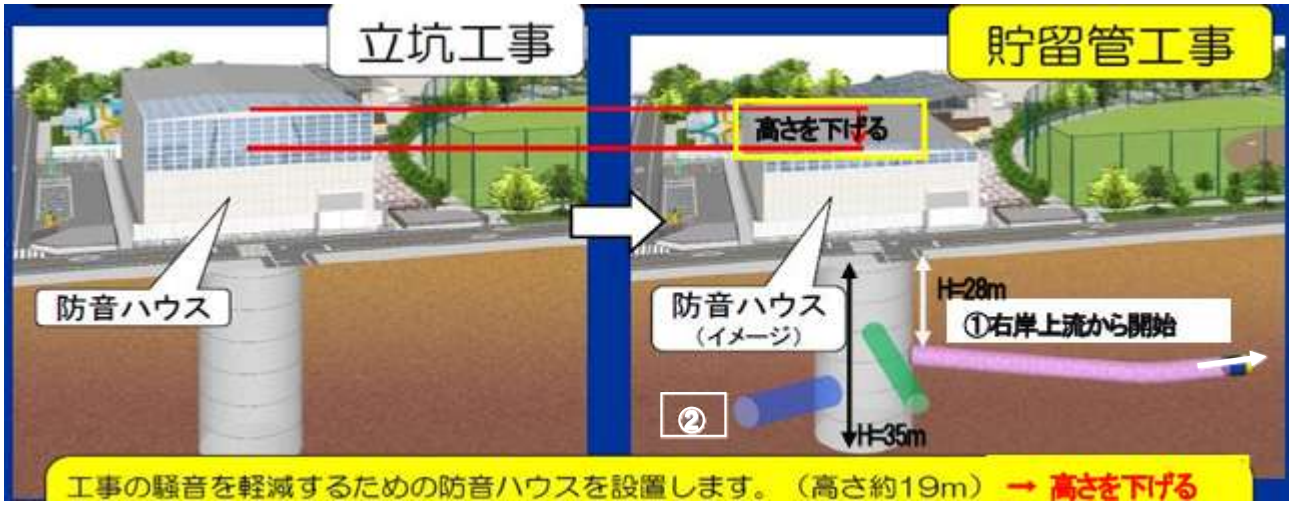


図 2:(出典)2023(R4).9.14 立坑設置工事説明会資料(大田区都市基盤整備部建設工事課)ベースに作成

呑川ギャラリー　写真

記:佐久間芳夫

呑川の沿道 5 か所にある「呑川の会掲示板」では、随時呑川周辺の生きもの写真を展示して多くの方に楽しんでいただいています。今回は、会報でも酷暑に頑張る彼らの姿を特集してみました。写真は、田代勝行会員、橋本文興会員の撮影です。

写真1:本門寺の山でアオバズクの親と子

写真2:カワセミの親　くちばしに金魚が、誰にあげるのでしょうか

写真3:スズキでしょうか

写真4:洗足流れのカルガモ親子

写真5:久しぶりに出現したスッポン

○ 新入会員紹介

岩井 弘行（いわい ひろゆき）

久が原図書館での呑川連続講座を機に入会させていただきました。
約 20 年間 久が原在住で呑川を身近な河川として親しみを感じております。
気象測器メーカに勤めており河川(防災)にも興味あります。
普段はなかなか参加できかねますが どうぞよろしくお願いいたします。

荒井　伸幸（あらい　のぶゆき）

久が原図書館の呑川連続講座を聴講し、先輩会員の皆さまの知見の深さと熱意に感銘して入会しました。呑川は、その爽やかな流れと野鳥、草花などが魅力です。
一方で、JR 蒲田駅の辺りは汽水域で本来であればハゼ釣りを楽しめるはずですが汚濁しスカムが湧いています。多くの方に愛される呑川となるよう願っています

「呑川の会」当面の活動日程　　（記：事務局長　森　巌）

＊「会場確保」のため変更することがあります。担当者からのメール連絡にご注意ください。

9月	1日～3日、ふれあいはすぬま、会場申し込み（16日、結果発表） 9日(火)：10時40分～11時25分、池雪小学校、スライド学習 12日(金)：10時～12時、世話人会、@ふれあいはすぬま 13日(土)：7時～7時30分、清掃活動、道々橋植栽辺り 17日(水)：9時35分～10時20分、雪谷小学校、事前スライド学習 17日(水)：13時～15時、緑道(行政)チームミーティング、@ふれあいはすぬま 18日(木)：10時～11時、会報発送作業、@ふれあいはすぬま 20日(土)：13時30分～16時、定例会、@久が原図書館 24日(水)：8時30分～12時、雪谷小学校、ウォーク学習、科学大学まで歩いて往復 ＜雨天予備日：30日(火)、雪谷小学校、ウォーク学習＞
10月	3日(金)：10時35分～12時10分、久原小学校、事前スライド学習 7日(火)：8時30分～12時、池上小学校、ウォーク学習、御嶽山駅～池上小学校 ＜雨天予備日：10日(金) 池上小学校、ウォーク学習＞ 11日(土)：12日(日)、雪谷文化センター祭り 11日(土)：13時～、エコデモ財団主催、多摩川流域団体交流会、@二ケ領せせらぎ館 14日(火)：8時30分～12時、久原小学校、ウォーク学習、久原小～工学院辺りまで ＜雨天予備日：16日(木)、久原小学校、ウォーク学習＞ 15日(水)：10時～12時、世話人会、@池上図書館 17日(金)：13時15分～14時、雪谷小学校、質問タイム(発表の手伝い) 18日(土)：13時30分～16時30分、JIAフォーラム、@東京科学大蔵前会館 22日(水)：13時～15時、緑道(行政)チームミーティング、@場所未定 23日(木)：13時30分～16時、定例会、@池上図書館、
11月	15日(土)：午後、定例会予定、@場所未定
12月	20日(土)：午後、定例会予定、@場所未定

（編集後記）……（記:荒井 伸幸）

今回から編集委員を仰せつかりました。元東京消防庁職員ですので、偶然にも通算 119 号の会報から関われたことにご縁を感じています。とは言え、入会したばかりで、しかも編集作業などは全くの未経験者ですので、当分の間は見習い編集委員として先輩会員の皆さまのご指導を受けながら作業を進めて参ります。忌憚のないご指摘やご意見を、宜しくお願い申し上げます。

引き続き、室内外での熱中症に注意しましょう。　　以　上